

2021年3月期 第1四半期 決算報告

2020年8月12日

第一生命ホールディングス株式会社



Dai-ichi Life
Holdings

- 第一生命ホールディングス経営企画ユニット長の西村です。
- 本日は、第一生命グループの2021年3月期第1四半期決算報告の電話会議にご参加いただきまして、ありがとうございます。
- 私から資料に沿って概要をご説明し、残りの時間を質疑応答とさせていただきます。
- 2ページをご覧ください。

目次



● 本日のポイント

P.2

● グループ各社の業績概要

P.11

● グループEEV

P.19

● 参考データ

P.22

グループ各社略称・出資比率・決算期

国内生命保険事業			出資比率	決算期
DL	第一生命		100%	4/3月
DFL	第一フロンティア生命		100%	
NFL	ネオファースト生命		100%	
海外生命保険事業				
R.C	カテクティブ	[米国] Protective Life Corporation	100%	1-12月
TAL	TAL	[豪州] TAL Dai-ichi Life Australia	100%	4/3月
DLVN	第一生命ベトナム	[ベトナム] Dai-ichi Life Insurance Company of Vietnam	100%	1-12月
DLKH	第一生命カンボジア	[カンボジア] Dai-ichi Life Insurance (Cambodia)	100%	
DLMM	第一生命ミャンマー	[ミャンマー] Dai-ichi Life Insurance Myanmar	100%	
SJD	スター・ユニオン・第一ライフ	[インド] Star Union Dai-ichi Life Insurance Company	45.9%	4/3月
IDL	パニン・第一ライフ	[インドネシア] PT Panin Dai-ichi Life	40%	1-12月
OLI	オシャン・ライフ	[タイ] OCEAN LIFE INSURANCE PUBLIC COMPANY	24%	
アセットマネジメント事業				
AMOne	アセットマネジメントOne		49%(議決権) 30%(経済持分)	4/3月
JH	ジョナス・ヘンダーソン	Jonas Henderson Group	15.5%	1-12月

主要為替レート(TTM)

	米ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円
2020/6末	107.74円	121.08円	73.88円
2020/3末	108.83円	119.55円	66.09円
2019/6末	107.79円	122.49円	75.49円
2019/3末	110.99円	124.56円	78.64円

1.【業績予想・株主還元】 21/3期グループ業績予想を開示、前期決算に係る自己株式取得を決定

- ・ 6月末金融環境、下期の営業活動の正常化等を前提に、グループ修正利益1,800億円・新契約価値900億円程度を予想
新型コロナ感染拡大に伴う影響等を受け、21/3期はグループ中期経営計画における計数目標を下回る見通し
- ・ 決定を留保していた、前期決算に対する株主還元としての自己株式取得について、300億円を上限とする実施を決定
21/3期1株あたり配当予想62円は変更なし、引き続き総還元性向40%を目途とする株主還元を検討

2.【1Q営業業績】 新型コロナに伴う営業制約等を受け、グループ新契約年換算保険料は△51%減少

- ・ 国内では、DL・DFLが前年同期比△65%・△68%減少した一方、NFLは+27%増加し、全体では△64%減少
- ・ 海外では、1-3月期を取り込む米PLCが+19%増加したものの、豪TALの団体保険の反動減等により、全体では△15%減少

3.【1Q連結利益】 金融市場変動等の影響を受けたDL・米PLCの利益低下等を主因に減益

- ・ グループ修正利益は前年同期比△83%減少の162億円、連結純利益は△21%減少の408億円
- ・ DLは3月末からの金融市場反転等を受けて金融派生商品損益が悪化し、グループ修正利益は△67%の減益
- ・ 米PLCは3月の金融市場の変動に伴う評価損や、会計基準の変更による貸倒引当金の繰入負担等により赤字を計上
(なお、3月以降の市場反転により2Q利益は大きく改善し、通期では黒字を予想)

新型コロナに関連した保険金等のお支払いの状況

	死亡保険金(給付金)		入院給付金	
	件数	金額	件数	金額
国内グループ会社	55件	約3.8億円	520件	約73百万円
海外グループ会社	1,078件	約58.1億円	41件	約10百万円

※ 2020年6月30日時点での判明分
海外グループ会社は6月末為替レート(TTM)にて円換算、再保険考慮後

- 本日のポイントを以下の3点にまとめました。
- まず、業績予想・株主還元です。5月の決算報告時には未定としていた今期の業績予想を発表しました。中期経営計画の計数目標については、新型コロナ感染拡大に伴う営業面・金融環境面での大きな影響を踏まえ、グループ修正利益は1,800億円程度、グループ新契約価値は900億円程度への減少を予想しています。
- 一方、前期決算に対する株主還元については、グループおよび各社の業績見通しや財務状態等を踏まえ、300億円を上限とする自己株式の取得を決定しました。今期の1株あたり配当予想は62円から変更はありません。
- 次に、第1四半期の営業業績です。新型コロナに伴う営業制約等を受け、グループ新契約年換算保険料は前年同期比△51%減少しました。国内では第一生命や第一フロンティア生命の減少幅が相対的に大きくなりましたが、ネオファースト生命では増加しました。
- 最後に、第1四半期の連結利益についてです。グループ修正利益は前年同期比△83%減少の162億円、連結純利益は△21%減少の408億円となりました。前期決算においては、3月の大幅な金融市場の悪化から第一生命のリスクヘッジのポジションで評価益を計上しましたが、当期においては、その後の市場の回復を受けて大幅な評価損となりました。
- また、海外では、プロテクトは1-3月期の業績を本第1四半期決算に取り込んでいますが、3月の大幅な金融市場の悪化の影響や、会計基準の変更による貸倒引当金の繰入負担等が発生し、赤字となりました。なお、プロテクトは現地時間8/13午後14時～16時に4-6月期の決算公表を予定しており、3月末以降の市場反転を受け、損益は大きく改善する見通しであり、通期では黒字を予想しています。
- ページ下段には、新型コロナ関連の保険金等のお支払い状況をアップデートしています。国内での支払い実績は引き続き限定的な状況にあり、海外は主に米国が中心になりますが、米国市場全体の状況に沿った推移となっています。
- 次のページをご覧ください。



2021年3月期 業績予想および業績予想の前提

- ▶ グループ修正利益は、新型コロナに伴う海外生保を中心とした利益低下等により、前期比△34%減少の1,800億円程度の減益を予想
連結純利益は、前期のDFLにおける市場価格調整(MVA)に係る評価性損失等から反転し、大きく改善する見通し
- ▶ 業績予想は、6月末金融環境、国内の新契約業績について、DL・DFLで前期比60~70%、NFLは80~90%程度を想定
グループ新契約価値は、営業制約や国内・海外金利の大幅な低下等が大きく影響し、前期比△41%減少の900億円程度を予想

通期業績予想および業績予想の前提

(億円)	20/3期 通期実績	21/3期 通期予想	前期比	(%)
連結経常収益	71,140	64,870	△ 6,270	△ 9%
第一生命	36,806	35,230	△ 1,576	△ 4%
第一フロンティア生命	20,650	13,760	△ 6,890	△ 33%
米プロテクト (百万米ドル)	12,744	9,820	△ 2,924	△ 23%
豪TAL (百万豪ドル)	5,808	5,760	△ 48	△ 1%
連結経常利益	2,183	3,580	+ 1,397	+ 64%
第一生命	2,906	2,970	+ 64	+ 2%
第一フロンティア生命	△ 944	400	+ 1,344	-
米プロテクト (百万米ドル)	577	220	△ 357	△ 62%
豪TAL (百万豪ドル)	207	110	△ 97	△ 47%
連結純利益⁽¹⁾	324	1,840	+ 1,516	+ 468%
第一生命	1,286	1,450	+ 164	+ 13%
第一フロンティア生命	△ 1,000	280	+ 1,280	-
米プロテクト (百万米ドル)	463	180	△ 283	△ 61%
豪TAL (百万豪ドル)	154	70	△ 84	△ 55%
グループ修正利益	2,745	1,800程度	△ 945	△ 34%
グループ新契約価値⁽²⁾	1,519	900程度	△ 619	△ 41%
1株あたり配当(円)	62	62	-	-
(参考)基礎利益	5,349	4,800程度	△ 549	△ 10%
第一生命	4,221	4,000程度	△ 221	△ 5%

(1) 親会社株主に帰属する当期純利益 (2) アジアの関連会社(主SUD・PDL・OLI)を含む

21/3期 通期業績予想の前提

金融環境	営業活動・保険金等の支払	その他前提
国内 生保	- 営業活動は下期に概ね正常化 [新契約業績の前提] (2Q) 前年同期比40~50% (下期) 70~90% (年間) D・DFL: 60~70% NFL: 80~90% 程度 - コロナ関連の保険金等支払いの 影響は限定的	[DL] 新規再保険(出再)の実施 を想定し、臨時損益の発生 (約△160億円)を織り込み
6月末 横這い	- 米PLC・豪TALともに、個人向け販 売は概ね前期水準で推移する前提 [米PLC] ・コロナ感染による米国の死亡者数 24万人までの影響を考慮 [豪TAL] ・コロナ関連の保険金支払いの影響 は限定的だが、景気減速に伴う所 得補償保険等の支払増加を考慮	
海外 生保		

- 業績予想とその前提を示しています。
- 連結経常収益はコロナによる営業制約等から減収を予想しますが、連結経常利益・連結純利益は、主に第一フロンティアにおける市場価格調整(MVA)に係る評価性の損失が利益に転ずる見通しから大幅な改善を予想しています。
- 一方、グループ修正利益は、MVAに係る損益を考慮しないため、海外生保を中心とした利益低下等を受け、1,800億円程度への減益となる見通しです。
- 経営環境としては、新型コロナや金融市場の状況など、足元でも不透明な状況は残りますが、業績予想を行うにあたって、右の表に記載の内容を前提としています。
- 金融市場環境については、第一生命経済研究所の経済見通し等を踏まえ、6月末時点の状況が概ね横這いで推移する前提としています。
- 営業活動は、国内では下期に正常化に向かうと想定し、通期の新契約業績は、第一生命・第一フロンティア生命で対前年60~70%、ネオファースト生命では同80%~90%程度を想定しています。また、国内におけるコロナ関連の保険金支払い等の影響は限定的と考えています。
- 一方、海外では、営業活動は概ね前期と同水準を想定しています。保険金等の支払の前提については、米国における死亡者数は現在約16万人程度ですが、これがさらに悪化して24万人に達する前提を置いています。
- この結果、グループ新契約価値は、900億円程度となる見通しです。
- その他の前提としては、第一生命では前々期、前期と既契約ブロックを出再してきましたが、今期についても出再を前提に置いており、臨時損失として約△160億円を業績予想に織り込んでいます。ただし、新規の出再は規模感含めて確定したのではなく、引き続き戦略的にリスクを削減していく方針の中で、業績予想のひとつの前提として考慮したものです。

- 次のページをご覧ください。

グループ中期経営計画「CONNECT 2020」の計数目標について

目標値・中長期的に目指す水準と
過去2年間の実績

当社グループを取り巻く環境変化

21/3期予想

経営目標 (計数目標)	会計利益	グループ修正利益 21/3期 2,500億円程度	
		(19/期) 2,363億円	(20/期) 2,500億円 ⁽¹⁾
将来利益		グループ新契約価値 21/3期 2,300億円程度	
		(19/期) 1,987億円	(20/期) 1,519億円

- ✓ 新型コロナの感染拡大に伴う、
- ① 金融市場環境の変化
 - ・世界的な市場金利の低下や金融市場ボラティリティの上昇
 - ② 世界的な経済活動の制限
 - ・営業活動の制限や景気後退に伴う新契約の減少
 - ③ お客さま(個人・法人)の行動変化
 - ・ソーシャルディスタンス慣習化によるお客さまとの接点の変化

グループ修正利益 **1,800億円程度**
グループ新契約価値 **900億円程度**

- ▶ 現中計策定時からの経営環境の変化は著しく、21/3期見通しは計数目標を下回る予想
- With/Postコロナに適應したグループ事業効率の改善に向けた取組を推進し、次期中計以降における安定的な収益確保を目指す

中長期的に 目指す姿	資本効率	EEV成長率(ROEV) 中長期的に 平均 8%成長	
		(18/末~20/3末) 平均△1.7%	(上場~20/末) 平均+8.9%
健全性		資本充足率(経済価値) 中長期的な時間軸で 170~200%	
		(20/末) 195%	



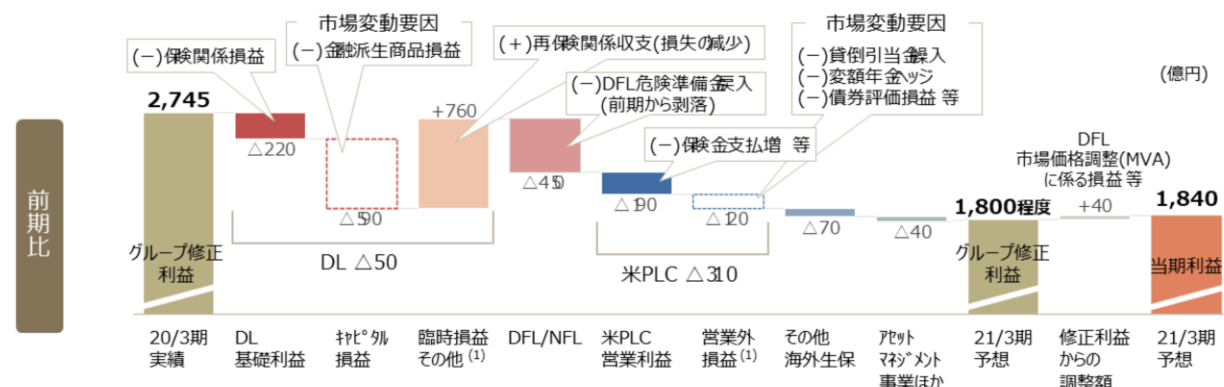
- ▶ 20/6末時点における資本充足率(暫定値)は、中長期的に目指す姿を上回る水準を確保
- 市場関連リスクの削減等により、引き続き安定確保に向けた取組を継続

(1) 実質ベース、DLにおける3月の急激な金融市場変動に伴う金融派生商品損益における未実現益を含む実績値は2,745億円

- 中期経営計画の目標ならびに目指す姿について記載しています。
- グループ修正利益は、目標値の2,500億円に向けて過去2年間は順調に推移しましたが、計画策定時と比べると、新型コロナ感染拡大に伴い経営環境は著しく変化しております。こうしたことから、冒頭でご説明した通り、当期のグループ修正利益・グループ新契約価値は、ともに計数目標を下回ると予想しています。
- 来年度からスタートする次期中期経営計画においては、このような厳しい環境変化に速やかに対応し、Withコロナ・Postコロナに適應したグループ事業効率の改善に向けた取組を推進し、安定的な収益確保を目指していきます。
- 一方、このような中で、資本充足率は中長期的に目指す姿を上回る水準を確保しており、引き続き市場関連リスクの削減方針に基づき、着実な取組みを継続していきます。
- 次のページをご覧ください。

2021年3月期 グループ修正利益予想 – 変動要因(前期比・中計目標対比)

- ▶ 前期比では、DLおよび米PLCにおける金融市場変動に伴う利益押し下げ要因が大きく影響する見通し
- ▶ 対中計目標では、国内生保が概ね横ばいとなる一方で、新型コロナに伴う保険金支払の増加や金融市場変動の影響などを主因とした海外生保事業が大幅に目標を下回る見通し



(1)法人税等の変動を含む

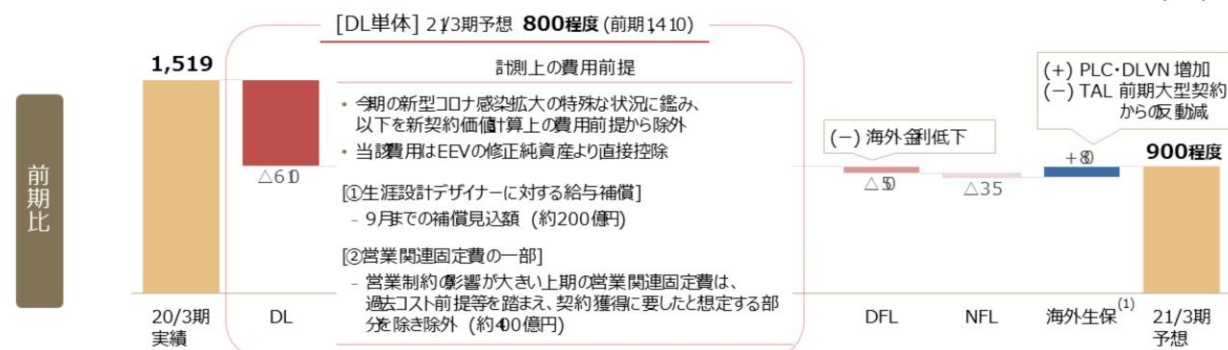
5

- グループ修正利益予想について、前期実績および中期経営計画目標と比較した変動要因を示しています。
- 前期比では、第一生命およびプロテktivにおいて、新型コロナに伴う金融市場変動が利益を大きく押し下げる見通しです。これらに加え、プロテktivの保険金支払等の増加に伴う利益の減少等もあり、新型コロナに伴う影響は合計△数百億円となっています。
- 下段に記載した中期経営計画の計数目標である2,500億円に対しても、国内ではネオファースト生命の新契約拡大に伴う事業費増加などもあり、目標を△120億円程度下回る見通しです。海外ではプロテktivが前述と同じ理由で利益予想が低下するなどにより、目標を△480億円下回る見通しです。
- 次のページをご覧ください。

2021年3月期 グループ新契約価値予想 – 変動要因(前期比・中計目標対比)

- ▶ 前期比では新型コロナに伴う営業制約、対中計目標では加えて国内・海外金利の大幅な低下等が大きく影響する見通し
- ▶ DL新契約価値は800億円程度と予想し、新型コロナの特殊な状況に鑑み、生涯設計デザイナーの給与補償や営業関連固定費の一部(契約獲得に要した部分を除く)の合計約600億円を除外して計測予定(除外した費用はEEVの修正純資産より控除する予定)

(億円)



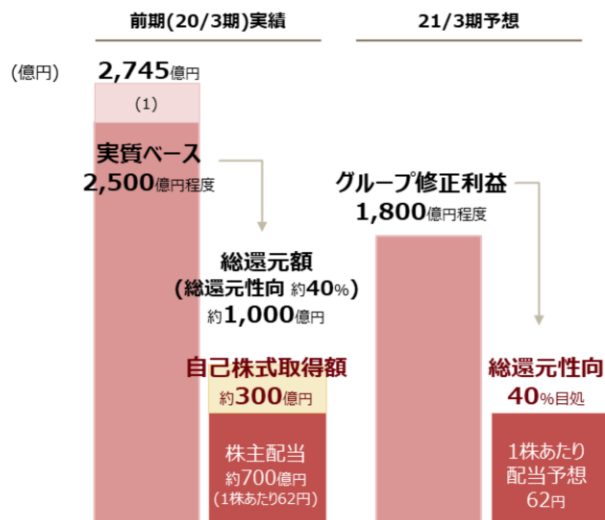
(1)アジアの関連会社(SUD・POL・OLI)を含む

6

- グループ新契約価値予想の変動要因について示しています。
- 前期比では新型コロナに伴う営業制約、対中計目標では加えて国内・海外金利の大幅な低下等が大きく影響する見通しとなっています。
- 第一生命単体の新契約価値は、新型コロナに伴う過去に例のない営業制約を踏まえ、800億円程度となる見込みです。資料中段の枠囲みの中で今期の新契約価値算定における費用の取り扱いについて記載しています。
- 第一生命では、緊急事態宣言が発令された4-5月を中心に営業自粛を行う中、お客さまからご要望のあった場合のみ新契約を取り扱う運営としておりました。現在においても、新型コロナ感染拡大を抑制する観点から当面の営業活動に制約を設けており、こうした状況を踏まえ、4月から9月までの間、生涯設計デザイナーの給与補償を行っています。加えて、上期中の営業固定費のうち、新契約の獲得に実質的に係ったと想定される費用を新契約価値に配賦する前提としています。予想では、給与補償と併せて総額約600億円と見込まれる費用について、新契約価値に配賦しない前提としており、これら除外した費用については、EEVの修正純資産から直接控除する予定です。
- 資料下段に記載した、中期経営計画の計数目標である2,300億円に対しては、第一生命のほかでは、第一フロンティア生命においても大きく目標を下回る見通しです。これは主に、販売代理店における営業制約に加え、内外金利の大きな低下が影響したためです。
- 次のページをご覧ください。

- ▶ グループ業績予想のほか、資本充足率やグループ各社の規制資本、CF状況等を踏まえ、留保していた自己株式取得の実施を決定
前期の実質的なグループ修正利益約2,500億円に対し、株主配当と併せて総還元性向40%に相当する300億円を上限とする
- ▶ 21/3期1株あたり配当予想62円は変更なし、引き続き総還元性向40%目途とする株主還元を検討

グループ修正利益と株主還元



自己株式取得の実施

- ▶ 前期の実質的なグループ修正利益である約2,500億円に対し、株主配当と併せて総還元性向40%に相当する300億円を上限とする自己株式取得を実施
(2,745億円に対する総還元性向は36.5%)

2021年3月期 株主還元

- ▶ 株主配当予想は62円とし、安定した株主配当を維持する方針
- ▶ 総還元性向は引き続き40%目処に検討

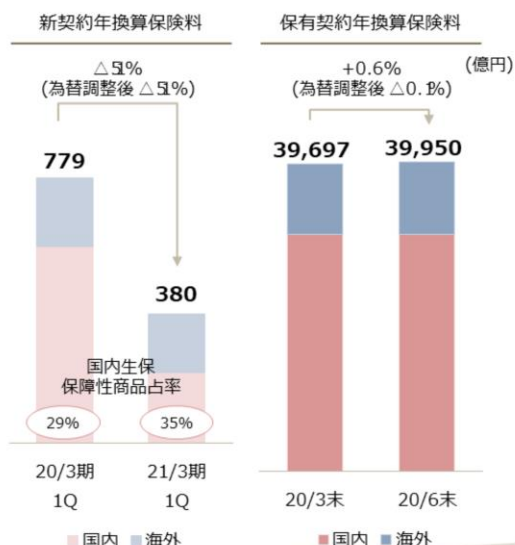
(1)DLにおける月の急激な金融市場変動に伴う金融派生商品損益における未実現益など

- 自己株式取得と今期の株主還元について記載しています。
- 前期決算に対する自己株式の取得については決定を留保していましたが、本日、300億円を上限として、これを決定しました。グループ業績予想、健全性、キャッシュフローの状況等を踏まえて判断したものです。前期の実質的なグループ修正利益の約2,500億円に対し、既に実施済みの株主配当総額約700億円と併せ、総還元性向は約40%となります。
- 自己株式取得の詳細については、本日付けのプレスリリースをご確認ください。
- なお、今期の1株あたり配当予想は、グループ修正利益が前期から大きく減益となる見通しではあるものの、公表済みの62円から変更はありません。引き続き総還元性向は40%目処とし、安定した株主配当を維持する方針です。
- 次のページをご覧ください。

第1四半期決算のポイント – 営業業績

- 国内新契約は、DLの営業自粛をはじめとする営業活動の制限に加え、DFLでは海外金利の大幅な低下に伴う外貨建貯蓄性商品の利回り低下も影響し、DL・DFLはそれぞれ前年同期比△65%・△68%減少
一方、代理店チャネルを中心に医療保険を展開するNFLは、新型コロナに伴う需要増加等も受けて+27%増加
- 海外では、1-3月期を取り込む米PLC・DLVN(ベトナム)が堅調に推移したものの、豪TALの団体保険の反動減等により、△15%減少

新契約・保有年換算保険料の状況



	新契約年換算保険料			保有契約年換算保険料		
	20/3期 1Q	21/3期 1Q	前年 同期比	20/3末	20/6末	前期末比
(億円)						
国内3社計	577	209	△63.8%	30,578	30,663	+0.3%
DL	208	72	△65.3%	21,104	20,961	△0.7%
うち第三分野	138	41	△69.9%	6,947	6,915	△0.5%
DFL	349	111	△68.0%	8,078	8,305	+2.8%
うちDLチャネル販売	90	21	△76.1%	1,395	1,396	+0.1%
NFL	19	24	+26.6%	-	-	-
うちDLチャネル販売	7	12	+67.9%	-	-	-
海外4社計	201	170	△15.3% (△13.1%)	9,119	9,287	+1.8% (△1.3%)
PLC	87	104	+19.1% (+21.5%)	5,457	5,424	△0.6% (+0.1%)
TAL ⁽¹⁾	69	22	△66.8% (△66.1%)	3,024	3,226	+6.7% (△4.6%)
DLVN	45	43	△3.2% (+1.0%)	636	635	△0.2% (+2.0%)
DLKH	0.0	0.1	-	0.3	0.4	+28.3% (+29.1%)
第一生命グループ計	779	380	△51.2% (△50.7%)	39,697	39,950	+0.6% (△0.1%)

海外各社および合計の上段は円換算、下段は為替変動の影響を除く変換率

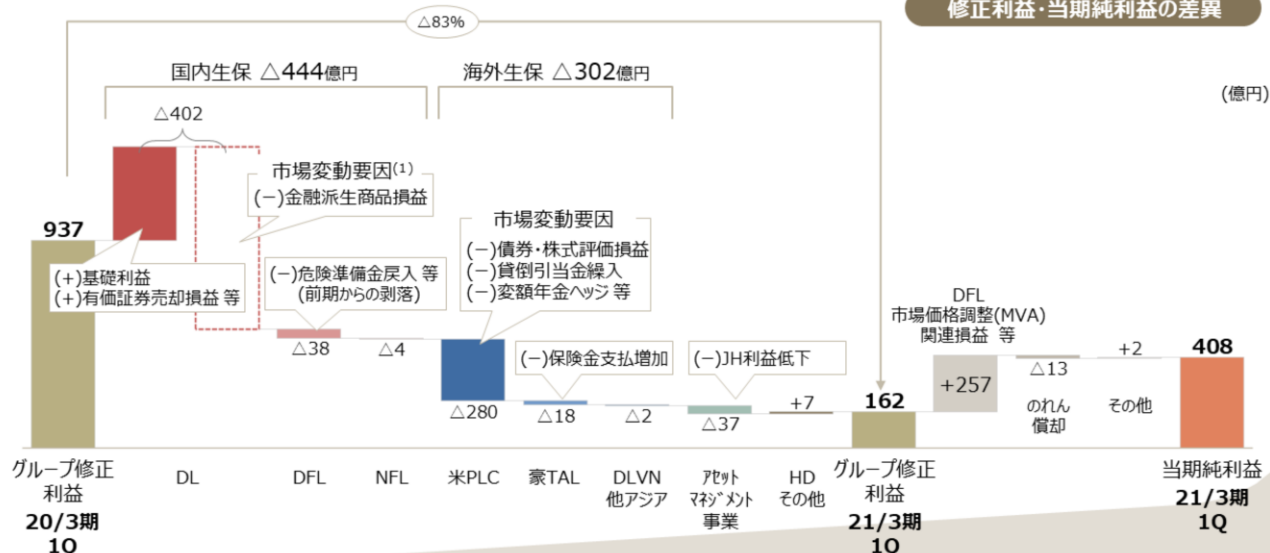
(1) 21/3期1Qより新契約年換算保険料の基準変更を行い、従来含めていた既契約増減を除いています

- ここから2ページで第1四半期決算のポイントを記載しています。
- まず、営業業績です。国内における新契約年換算保険料は、第一生命における営業自粛をはじめとする営業活動の制限に加え、第一フロンティア生命では海外金利の低下による外貨建商品の販売量減少等から、前年同期比でそれぞれ△65%・△68%減少しました。
- 一方、保険ショップや代理店において医療保険を展開するネオファースト生命では、新型コロナに伴う需要増加等も受け、+27%増加しました。
- 第一生命における営業活動は、上期は引き続き慎重な見通しですが、下期にかけて正常化に向かうことを想定しています。
- 海外では、プロテクトや第一生命ベトナムなど、1-3月期を本第1四半期に取り込んでいる関係から、新型コロナの影響反映にタイムラグが生じていますが、両社の1-3月は前年同期を上回る状況(第一生命ベトナムは現地通貨ベース)にあり、直近6月までを踏まえても、大きな減速には至っておりません。TALの4-6月期においても、変動が大きい団体保険の新契約を除く個人保険では概ね前年並みの水準を確保しています。
- 以上の結果、グループ全体の新契約年換算保険料は前年同期比△51%減の380億円となりました。保有契約年換算保険料はほぼ横這いで推移しています。
- 次のページをご覧ください。

第1四半期決算のポイント – グループ修正利益・当期純利益

- ▶ グループ修正利益は前年同期比△83%減少の162億円、当期純利益は△21%減少の408億円
- ▶ グループ修正利益は、DLにおいて基礎利益の改善等があるものの、金融市場の大幅な回復に伴い、前期末に大幅な利益計上となった市場リスクヘッジポジションからの金融派生商品損益が損失に反転したほか、米PLCにおける市場変動要因による損益の悪化が大きく影響

グループ修正利益・変動要因



(1)金融派生商品損益のほか、有価証券評価損および金銭の信託運用損益の増減を合算しています

9

- 最後に、グループ修正利益・当期純利益の状況を説明します。
- グループ修正利益は、第一生命およびプロテクトにおいて、金融市場変動の影響を大きく受けたことなどから、前年同期比△83%減少の162億円となりました。
- 第一生命では、これまで実施してきた既契約ブロックの出再に伴う予定利息の減少や外国証券等からの利息配当金等収入の増加により順ざやが拡大し、基礎利益を押し上げたほか、有価証券売却益も増加しました。一方で、前期決算において3月の大幅な金融市場の悪化により大きな評価益を計上したリスクヘッジのポジションについては、第1四半期では金融市場の回復を受けて評価損に転じ、金融派生商品損益が大きく悪化しました。前年同期の金融派生商品がプラスであったこともあり、第一生命は前年同期比で△402億円の減益となりました。
- また、海外では、1-3月期を取り込むプロテクトにおいて、3月の大幅な金融市場の悪化の影響や会計基準の変更による貸倒引当金の繰入負担等が発生し、前年同期比で△280億円の減少、単体では赤字となりました。
- その他のグループ会社では、第一フロンティア生命における運用期間満了を迎えた変額年金の危険準備金戻入益が剥落し、また、TALにおいては、一部団体の新型コロナによらない保険金支払増加等を主因に減益となりました。アセットマネジメント事業では、ジャナス・ヘンダーソンが無形固定資産等の減損損失により1-3月期が赤字となったことが影響しています。
- 連結純利益は、前期の第一フロンティアにおける市場価格調整(MVA)に係る評価性損失等から反転することから、前年同期比△21%減少の408億円となりました。
- 第一生命・プロテクトともに短期的な金融市場変動の中で評価性の損益を中心に影響を受けたものであり、今後の市場環境によって変動しうるものです。プロテクトは、現地時間8/13午後4-6月期の決算公表を予定していますが、3月末以降の市場反転を受け、収益は大きく改善する見通しであり、通期では黒字を予想しています。
- 私からの説明は以上です。ありがとうございました。

グループ連結主要業績および2021年3月期業績予想

(億円)	20/3期 第1四半期	21/3期 第1四半期	前年 同期比	(%)	対通期予想 進捗率	20/3期 通期実績	21/3期 通期予想	前期比	(%)
連結経常収益	18,302	17,913	△ 388	△ 2%	28%	71,140	64,870	△ 6,270	△ 9%
第一生命	9,086	9,451	+ 365	+ 4%	27%	36,806	35,230	△ 1,576	△ 4%
第一フロンティア生命	4,282	4,864	+ 582	+ 14%	35%	20,650	13,760	△ 6,890	△ 33%
米プロテクト (百万米ドル) ⁽¹⁾	3,308	5,272	+ 1,963	+ 59%	54%	12,744	9,820	△ 2,924	△ 23%
泰TAL (百万泰ドル) ⁽¹⁾	1,397	1,647	+ 250	+ 18%	29%	5,808	5,760	△ 48	△ 1%
連結経常利益	1,050	767	△ 283	△ 27%	21%	2,183	3,580	+ 1,397	+ 64%
第一生命	1,059	487	△ 572	△ 54%	16%	2,906	2,970	+ 64	+ 2%
第一フロンティア生命	△ 240	455	+ 696	-	111%	△ 944	400	+ 1,344	-
米プロテクト (百万米ドル) ⁽¹⁾	174	△ 144	△ 319	-	-	577	220	△ 357	△ 62%
泰TAL (百万泰ドル) ⁽¹⁾	87	58	△ 28	△ 33%	53%	207	110	△ 97	△ 47%
連結純利益⁽²⁾	517	408	△ 109	△ 21%	22%	324	1,840	+ 1,516	+ 468%
第一生命	596	194	△ 402	△ 67%	13%	1,286	1,450	+ 164	+ 13%
第一フロンティア生命	△ 254	365	+ 620	-	128%	△ 1,000	280	+ 1,280	-
米プロテクト (百万米ドル) ⁽¹⁾	138	△ 117	△ 255	-	-	463	180	△ 283	△ 61%
泰TAL (百万泰ドル) ⁽¹⁾	60	37	△ 22	△ 38%	49%	154	70	△ 84	△ 55%
グループ修正利益	937	162	△ 775	△ 83%	9%	2,745	1,800程度	△ 945	△ 34%
					1株あたり配当(円)	62	62	-	-
(参考)基礎利益	1,265	1,369	+ 103	+ 8%	29%	5,349	4,800程度	△ 549	△ 10%
第一生命	945	1,178	+ 233	+ 25%	29%	4,221	4,000程度	△ 221	△ 5%

(1) 米プロテクトおよび泰TALの数値は、各国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示
(換算為替) 米プロテクト: 1米ドル=110.99円(20/3期1Q)、109.56円(20/3期通期実績)、108.83円(21/3期1Qおよび通期予想)
泰TAL: 1泰ドル=75.49円(20/3期1Q)、66.09円(20/3期通期実績)、73.88円(21/3期1Qおよび通期予想)

(2) 親会社株主に帰属する当期純利益

グループ各社の業績概要

[グループ各社の業績概要]

国内生命保険事業 – 第一生命



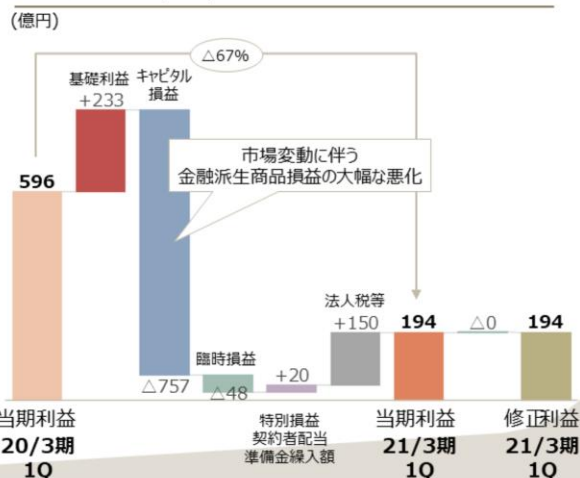
- ▶ 基礎利益は、順ざやの増加を主因に前年同期比+25%増加の1,178億円
- ▶ 修正利益は、前期末からの金融市場反転等を受け、金融派生商品損益が大きく悪化したことなどから、△67%減少の194億円

単体業績

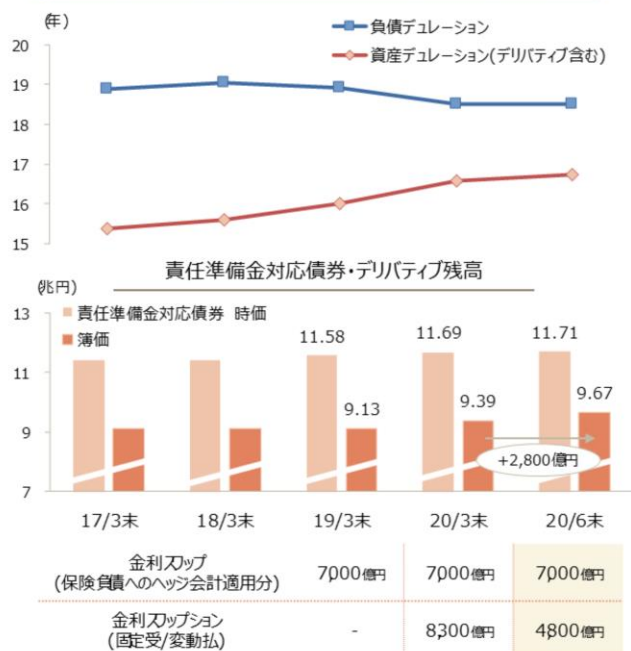
(億円)	20/3期 第1四半期	21/3期 第1四半期	前年 同期比	(%)
保険料等収入	5,819	5,437	△ 382	△ 7%
基礎利益	945	1,178	+ 233	+ 25%
順ざや	136	434	+ 298	+ 218%
保険関係損益	808	743	△ 65	△ 8%
キャピタル損益	267	△ 489	△ 757	
有価証券売却損益	486	844	+ 358	
金融派生商品損益	71	△ 1,150	△ 1,221	
為替差損益	△ 227	△ 189	+ 37	
有価証券評価損	△ 55	△ 11	+ 43	
臨時損益	△ 153	△ 201	△ 48	
新規追加責任準備金繰入額	△ 152	△ 155	△ 3	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	-	△ 42	△ 42	
経常利益(損失)	1,059	487	△ 572	△ 54%
特別損益	△ 42	△ 46	△ 4	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 42	△ 42	-	
契約者配当準備金繰入額	△ 189	△ 165	+ 24	
法人税等合計	△ 231	△ 81	+ 150	
当期純利益(損失)	596	194	△ 402	△ 67%

(億円)	20/3期 1Q	21/3期 1Q	前年 同期比	(%)
修正利益	596	194	△402	△67%

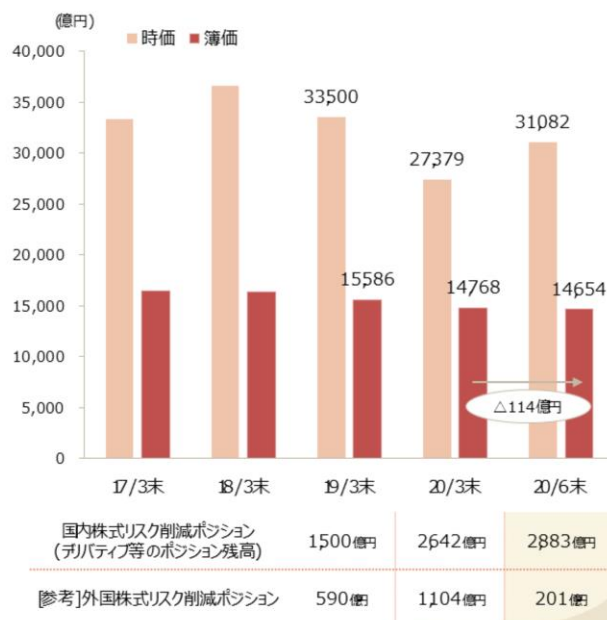
当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異



デュレーションと責任準備金対応債券の積み増し状況⁽¹⁾



国内株式の簿価・時価⁽²⁾



(1) 一般勘定資産のうち主に個人保険・個人年金に係る経理区分の保険負債と円建確定利付資産(金利スワップを含む)の会計上のデュレーション、および責任準備金対応債券・デリバティブ残高

責任準備金対応債券とは、保険会社だけに認められた区分で、一定の要件を満たせば償却原価法による評価が認められているものを指します

(2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く) 2020/6末において純投資目的以外の目的で保有する株式(みなし保有株式は除く)の簿価残高は1,034億円

[グループ各社の業績概要]

国内生命保険事業 – 第一フロンティア生命



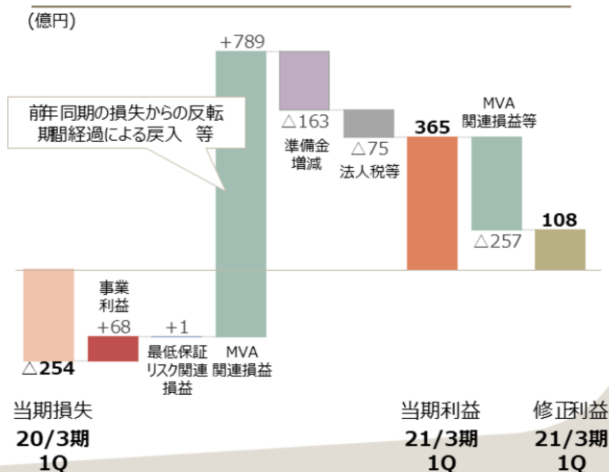
- ▶ 事業利益は、債券売却益の増加もあり、前年同期比+50%増加の205億円、MVA関連損益の反転等により、当期利益は365億円
- ▶ 修正利益は、運用期間満了を迎えた変額年金の危険準備金戻入が剥落し、△26%減少の108億円

単体業績

(億円)	20/3期 第1四半期	21/3期 第1四半期	前年 同期比	(%)
保険料等収入	3,679	1,547	△ 2,132	△ 58%
基礎利益⁽¹⁾	113	146	+ 32	+ 29%
順ざや、保険関係損益等(事業利益項目)	115	117	+ 1	
最低保証関連損益(責任準備金増減等)	△ 2	29	+ 31	
キャピタル損益	△ 423	403	+ 826	
最低保証関連損益(ヘッジ損益)	△ 7	△ 37	△ 29	
MVA積増等関連損益	△ 436	353	+ 789	
その他キャピタル損益(事業利益項目)	20	87	+ 67	
臨時損益	69	△ 93	△ 163	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	69	△ 93	△ 163	
経常利益(損失)	△ 240	455	+ 696	-
特別損益	△ 13	△ 14	+ 0	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 13	△ 14	+ 0	
法人税等合計	-	△ 75	△ 75	
当期純利益(損失)	△ 254	365	+ 620	-
事業利益 ⁽²⁾	136	205	+ 68	+ 50%
最低保証リスク関連損益	△ 10	△ 8	+ 1	
市場価格調整(MVA)関連損益	△ 436	353	+ 789	
危険準備金/価格変動準備金、税金	55	△ 183	△ 239	

(億円)	20/3期 1Q	21/3期 1Q	前年 同期比	(%)
修正利益	146	108	△38	△26%

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異



(1) 21/3期1Qより基礎利益の基準変更を行い、外貨建保険商品対応のための通貨スワップ及び金利スワップ取引に係る

受取・支払利息の額及び再保険取引に係る金銭の信託等にて留保する資産より生じる影響額についてはキャピタル損益より組み替えています

(2) 純利益から最低保証リスク関連損益、市場価格調整(MVA)に係る損益、危険準備金の繰入等を除いた基礎的な収益力を表す内部管理指標

[グループ各社の業績概要]

国内生命保険事業 – ネオファースト生命



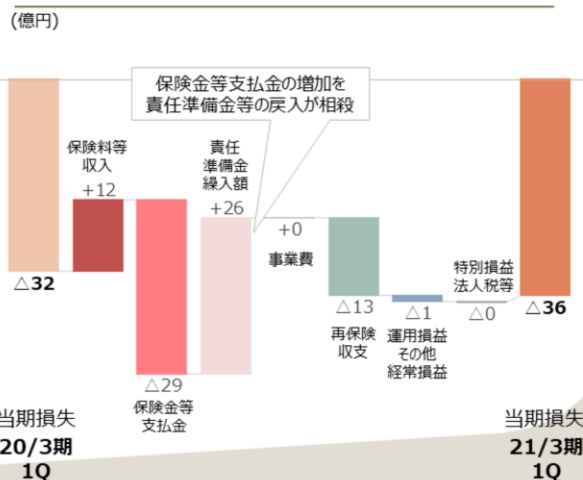
- ▶ 新契約拡大に伴い保険料等収入は前年同期比+5%増加
- ▶ 保険金等支払が増加したものの、責任準備金等の戻入が相殺した結果、当期純利益は△36億円

単体業績

(億円)	20/3期 第1四半期	21/3期 第1四半期	前年 同期比	(%)
保険料等収入(再保険料収入を除く)	273	285	+ 12	+ 5%
保険金等支払金(再保険料を除く)	△ 12	△ 41	△ 29	
保険金・年金・給付金	△ 7	△ 13	△ 5	
解約返戻金・その他返戻金	△ 4	△ 28	△ 23	
責任準備金等繰入額	△ 204	△ 177	+ 26	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 1	△ 0	+ 0	
事業費	△ 62	△ 61	+ 0	
再保険収支	△ 25	△ 39	△ 13	
資産運用損益・その他経常損益	△ 1	△ 2	△ 1	
資産運用損益	0	0	+ 0	
その他経常損益	△ 1	△ 3	△ 1	
経常利益(損失)	△ 32	△ 36	△ 4	-
特別損益	-	△ 0	△ 0	
法人税等合計	△ 0	△ 0	△ 0	
当期純利益(損失)	△ 32	△ 36	△ 4	-
基礎利益	△ 31	△ 35	△ 4	-

(億円)	20/3期 1Q	21/3期 1Q	前年 同期比	(%)
修正利益	△32	△36	△4	-

当期純利益(損失)の変動要因



[グループ各社の業績概要]

海外生命保険事業 – 米プロテクティブ



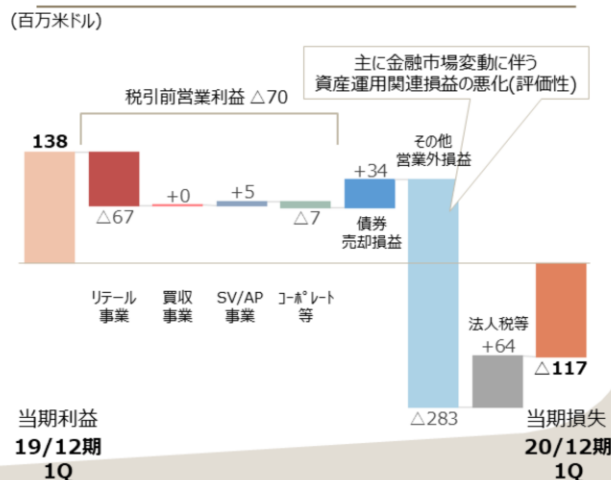
- ▶ 営業利益は、金利低下・金融市場変動の影響を受けたリテール事業の損益悪化により、前年同期比△49%減少の72百万米ドル
- ▶ 当期純利益は、3月の市場変動に伴う株式・債券評価損や会計基準変更による貸倒引当金繰入等により、△117百万米ドルの赤字（なお、3月以降の市場反転により2Q利益は大きく改善を見込む：現地時間8/13午後14時～4-6月期の決算公表を予定）

単体業績

(百万米ドル)	19/12期 第1四半期	20/12期 第1四半期	前年 同期比	(%)
保険料等収入	1,454	1,661	+ 207	+ 14%
税引前営業利益⁽¹⁾	142	72	△ 70	△ 49%
リテール保険&年金 ⁽²⁾	55	△ 12	△ 67	-
買収	74	75	+ 0	+ 0%
ステーブルバリュー(SV)	22	25	+ 3	+ 14%
アセットプロテクション(AP)	9	11	+ 1	+ 20%
コーポレート等	△ 19	△ 27	△ 7	-
営業外損益(償却調整後)	32	△ 217	△ 249	
債券売却損益	5	39	+ 34	
債券評価損・株式評価損益等	26	△ 95	△ 121	
商業モーゲージローン貸倒引当金増減	-	△ 95	△ 95	
修正共同保険式再保険に関する損益	9	△ 48	△ 58	
デリバティブ損益(変動/定額年金等)	△ 13	△ 75	△ 62	
営業外損益に係るDAC等償却の変動	4	58	+ 54	
法人税等	△ 36	27	+ 64	
当期純利益(損失)	138	△ 117	△ 255	-
当期純利益(損失) ※円換算後：億円	153	△ 127	△ 280	-
決算為替レート(対円)	110.99	108.83	△ 2.16	△ 2%

(億円)	19/12期 1Q	20/12期 1Q	前年 同期比	(%)
修正利益	153	△127	△280	-

当期純利益(損失)の変動要因



(1) 純利益から資産運用やデリバティブにおけるキャピタル損益を控除した利益指標
(2) 20/12期1Qより報告セグメントの変更を行っており、旧「生保事業」と「年金事業」を統合しています

[グループ各社の業績概要]

海外生命保険事業 – 豪TAL

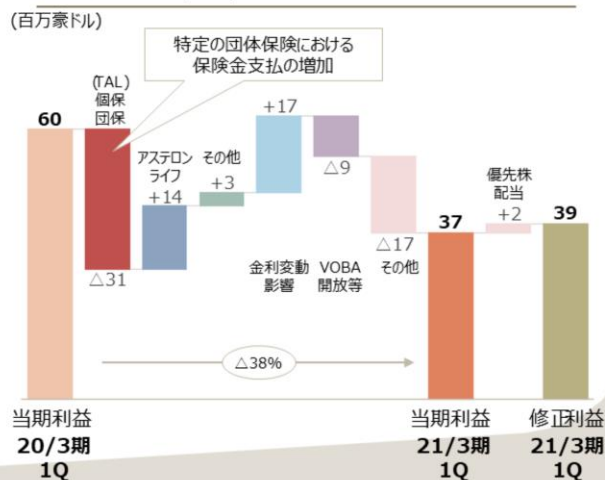
- ▶ 基礎的収益力は、団体保険において一部団体における保険金支払増加等を主因に、前年同期比△36%減少の25百万豪ドル
- ▶ 当期純利益は、金利変動がプラス寄与したものの、アステロン・ライフの統合費用負担等により、△38%減少の37百万豪ドル

単体業績

(百万豪ドル)	20/3期 第1四半期	21/3期 第1四半期	前年 同期比	(%)
保険料等収入	1,235	1,439	+ 204	+ 17%
基礎的収益力(税引後)	39	25	△ 14	△ 36%
個人保険	40	27	△ 12	△ 31%
団体保険	14	△ 5	△ 19	-
アステロン・ライフ	△ 1	12	+ 14	-
その他(基礎的項目)	△ 13	△ 9	+ 3	-
基礎的収益外損益(税引後)	20	12	△ 8	
金利変動に伴う資産・保険負債の変動	15	33	+ 17	
VOBAの開放等	15	6	△ 9	
優先株配当等	△ 4	△ 4	+ 0	
その他	△ 6	△ 23	△ 17	
当期純利益(損失)	60	37	△ 22	△ 38%
当期純利益(損失) ※円換算後: 億円	45	27	△ 17	△ 39%
決算為替レート(対円)	75.49	73.88	△ 1.61	△ 2%

(億円)	20/3期 1Q	21/3期 1Q	前年 同期比	(%)
修正利益	48	29	△18	△38%

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異



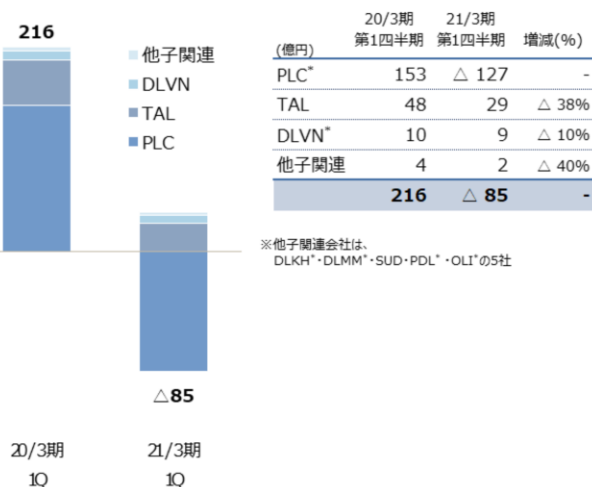


[グループ各社の業績概要]

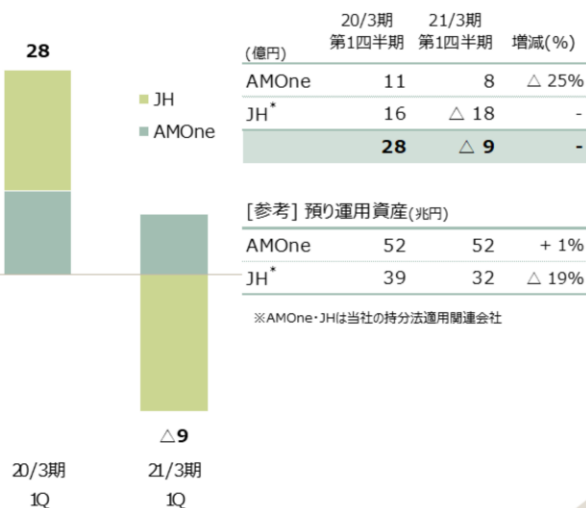
海外生命保険事業・アセットマネジメント事業

- ▶ 米PLC・豪TAL以外のアジア子会社・関連会社を含めた海外生保事業の修正利益は、DLVN(ベトナム)が減益となったほか、設立間もないDLKH(カンボジア)やDLMM(ミャンマー)の費用負担等もあり、全体で△85億円
- ▶ アセットマネジメント事業も、JHが3月に無形固定資産等の減損損失が発生し最終赤字となったことから、全体で△9億円

海外生命保険事業 修正利益合計



アセットマネジメント事業 修正利益合計



(*) 決算日が12月31日の子関連会社はPLC・DLVN・DLKH・DLMM・PDL・OLI・JHの7社。

グループEEV (European Embedded Value)

EEV - ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー



Dai-ichi Life
Holdings

- ▶ グループEEVは、前期末比で金融市場環境が好転したことから、DLにおける有価証券含み益の増加やDFLにおける社債スプレッド変動に伴う計算上の評価損の改善等により、前期末比+6,200億円増加の約6兆2,400億円

(億円)	20/3末	20/6末 (概算値)	増減
第一生命グループEEV	56,219	約62,400	約+6,200
対象事業(covers business)のEEV ⁽¹⁾	57,613	約63,400	約+5,800
修正純資産	66,293	約68,700	約+2,400
保有契約価値	△ 8,680	約△5,300	約+3,400
対象事業以外の純資産等に係る調整 ⁽²⁾	△ 1,393	約△1,000	約+400

[参考] 現地通貨建

(億円)	20/3末	20/6末 (概算値)	増減	(億円)	19/12末	20/3末 (概算値)	増減	(億円)	19/12末	20/3末 (概算値)	増減
DL	42,964	約47,700	約+4,700	米PLC	7,653	約6,900	約△700		6,986	約6,400	約△600
修正純資産	56,310	約56,300	約△0	修正純資産	4,104	約4,500	約+400		3,746	約4,100	約+400
保有契約価値	△ 13,346	約△8,600	約+4,700	保有契約価値	3,549	約2,400	約△1,100		3,239	約2,200	約△1,000
(億円)	20/3末	20/6末 (概算値)	増減	(億円)	20/3末	20/6末 (概算値)	増減	(億円)	20/3末	20/6末 (概算値)	増減
DFL	1,912	約3,400	約+1,500	豪TAL	3,172	約3,500	約+300		4,801	約4,700	約△100
修正純資産	3,782	約5,700	約+1,900	修正純資産	1,788	約2,000	約+200		2,706	約2,700	約+0
保有契約価値	△ 1,870	約△2,200	約△400	保有契約価値	1,384	約1,500	約+100		2,094	約2,000	約△100

(米PLC: 百万米ドル 豪TAL: 百万豪ドル)

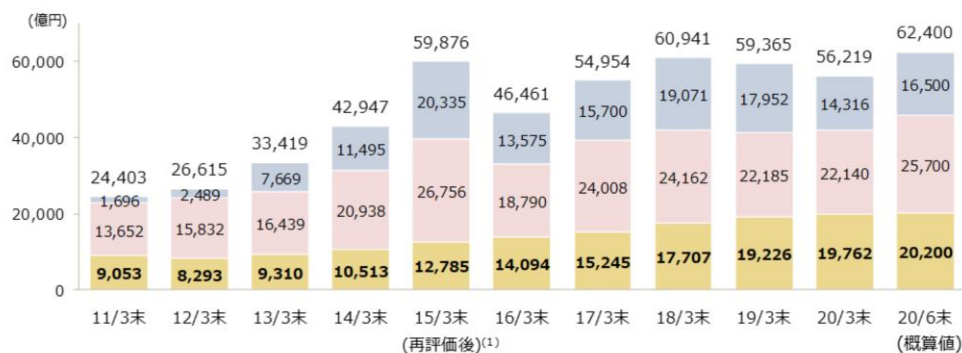
- (1) 対象事業(covers business)とは、EEV原則で定められているEV手法を適用した範囲であり、生命保険事業を行う子会社(DL、DFL、NFL、米PLC、豪TAL、DLVN(ベトナム)およびこれらの子会社)を対象事業とする
(2) 「対象事業以外の純資産等に係る調整」には、第一生命ホールディングスの単体貸借対照表の純資産の部(20/3末: 12,502億円、20/6末: 12,858億円)、第一生命ホールディングスの生命保険事業子会社6社に対する出資に係る調整(20/3末: △14,462億円、20/6末: △14,405億円)、第一生命ホールディングスが保有する資産・負債の時価評価する調整を含む



資産・負債の対応を考慮したEEVの再分類

資産・負債の対応を考慮した再分類				資産・負債の対応を考慮した再分類			
(億円)	20/3末	20/6末 (概算値)	増減	(億円)	20/3末	20/6末 (概算値)	増減
第一生命グループEEV	56,219	約62,400	約+6,200	第一生命グループEEV	56,219	約62,400	約+6,200
対象事業(covers business)のEEV	57,613	約63,400	約+5,800	確定利付資産以外の含み損益等 ⁽²⁾	14,316	約16,500	約+2,200
修正純資産	66,293	約68,700	約+2,400	保有契約価値+確定利付資産の含み損益等 ⁽³⁾	22,140	約25,700	約+3,600
保有契約価値	△ 8,680	約△5,300	約+3,400	純資産等+負債中の内部留保 ⁽⁴⁾	19,762	約20,200	約+400
対象事業以外の純資産等に係る調整	△ 1,393	約△1,000	約+400				

資産・負債の対応を考慮した再分類による第一生命グループEEVの推移

保有契約価値+含み損益等:
保険契約の保有により生じる将来利益確定利付資産以外の
含み損益等⁽²⁾保有契約価値
+ 確定利付資産の含み損益等⁽³⁾純資産等
+ 負債中の内部留保⁽⁴⁾
: 実現利益の累積額に相当

(1) 終局金利を用いた方法による再評価後の数値を記載

(2) DLが保有する確定利付資産以外の資産(株式、外貨建債券(ヘッジ外債を除く)、不動産等)の含み損益等の額を計上

(3) 保有契約価値に、DLの確定利付資産ならびにCDFLおよびNFLの資産の含み損益等を加算・調整した額を計上

本項目は、未実現利益のうち、主に金利の影響を受ける部分であり、金利水準等の変化に応じた、保有契約価値および確定利付資産の含み損益等の変動額は、お互いに相殺関係にあります

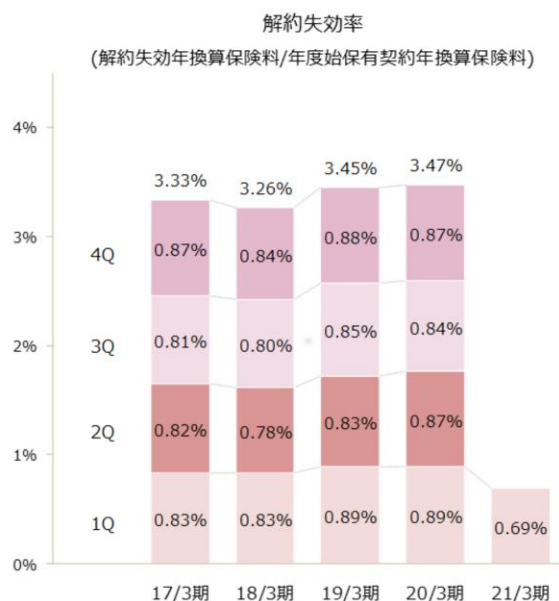
(4) 対象事業のEEVの修正純資産に対象事業以外の純資産等に係る調整を反映し、含み損益等を除いた額を計上

参考データ

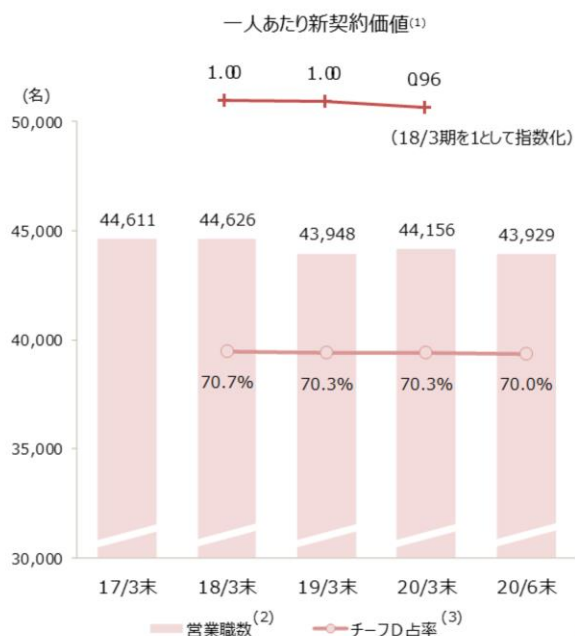


[第一生命] 営業関連指標 – 解約失効・営業職数および生産性

解約失効(個人保険・個人年金 年換算保険料ベース)



営業職数および生産性



(1) 各期の新契約価値を分子、営業職数(補助的業務に従事する者を除く)の平均値を分母として計算

(2) 営業職については、DLと委任契約を締結しつつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除く

(3) 所定の成績水準を満たす生涯設計デザイナーにライフプロフェッショナル職を加えた、DLの中核たる営業職の占率。現行基準により18/3末より掲載



[第一生命] 資産運用の状況① - 資産運用収益・費用の内訳

利息・配当金等収入の内訳

(億円)	20/3期 第1四半期	21/3期 第1四半期	前年同期比	(%)
利息・配当金等収入	1,861	2,091	+ 230	+ 12%
公社債	703	681	△ 21	△ 3%
株式	86	62	△ 24	△ 28%
外国証券	666	825	+ 158	+ 24%
その他の証券	93	226	+ 132	+ 142%
貸付金	104	96	△ 7	△ 7%
不動産	184	183	△ 1	△ 1%

[参考] 20/3期 有価証券運用利回り

(億円)	利息・配当金等収入	日々平均残高	利回り ⁽¹⁾
一般勘定計	7,865	332,325	2.37%
公社債	2,788	154,237	1.81%
株式	735	15,740	4.68%
外国証券	2,872	97,580	2.94%
その他の証券	222	7,769	2.87%
貸付金	408	23,996	1.70%
不動産 ⁽²⁾	753	8,049	9.36%

有価証券売却損益・有価証券評価損の内訳

(億円)	20/3期 第1四半期	21/3期 第1四半期	前年同期比	(%)
有価証券売却益	621	1,058	+ 437	+ 70%
公社債	230	398	+ 167	+ 73%
株式	256	209	△ 47	△ 18%
外国証券	131	444	+ 313	+ 239%
その他の証券	2	5	+ 3	+ 168%
有価証券売却損	134	213	+ 79	+ 59%
公社債	0	1	+0	+ 214%
株式	10	3	△ 7	△ 66%
外国証券	117	154	+ 37	+ 32%
その他の証券	6	54	+ 48	+ 755%
有価証券売却損益	486	844	+ 358	+ 74%
有価証券評価損	55	11	△ 43	△ 79%
公社債	-	-	-	-
株式	26	8	△ 18	△ 69%
外国証券	29	3	△ 25	△ 88%
その他の証券	-	0	+0	-

(1) 利息・配当金等収入を分子、日々平均残高を分母として計算

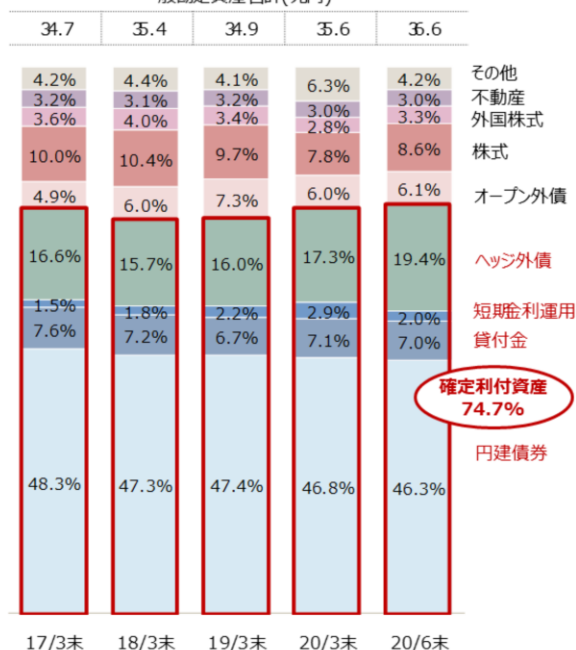
(2) 投資用不動産



[第一生命] 資産運用の状況② - 運用資産構成・資産運用利回りと平均予定利率

運用資産の構成(一般勘定)⁽¹⁾

一般勘定資産合計(兆円)

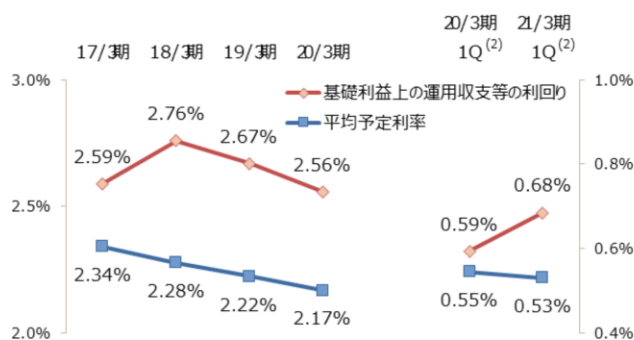


(1)貸借対照表価額ベース

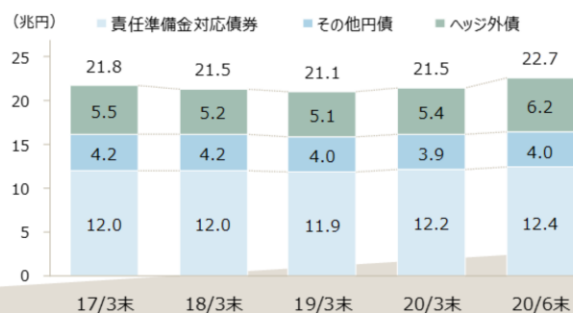
(2)決算対象期間における基礎利益上の運用収支等・予定利息に対する利回り・利率

(3)簿価ベース

資産運用利回りと平均予定利率



確定利付資産における債券積み増し状況⁽³⁾

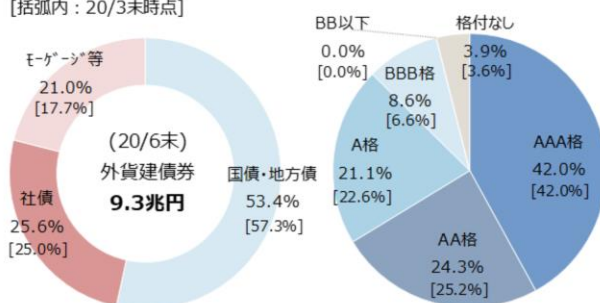




[第一生命] 資産運用の状況③ - 円建・外貨建債券の状況

円建債券の内訳⁽¹⁾国債の残存期間別残高⁽²⁾ (20/6末)外貨建債券の内訳⁽²⁾⁽³⁾ (20/6末)

[括弧内：20/3末時点]

外貨建債券の通貨別構成⁽²⁾

(1)簿価ベース

(2)貸借対照表価額ベース

(3)格付けはS&P・Moody'sの2社の格付け機関による格付けの中間の評価を採用、モーゲージ等を除く



[第一生命] 健全性指標 – 含み損益とソルベンシー・マージン比率

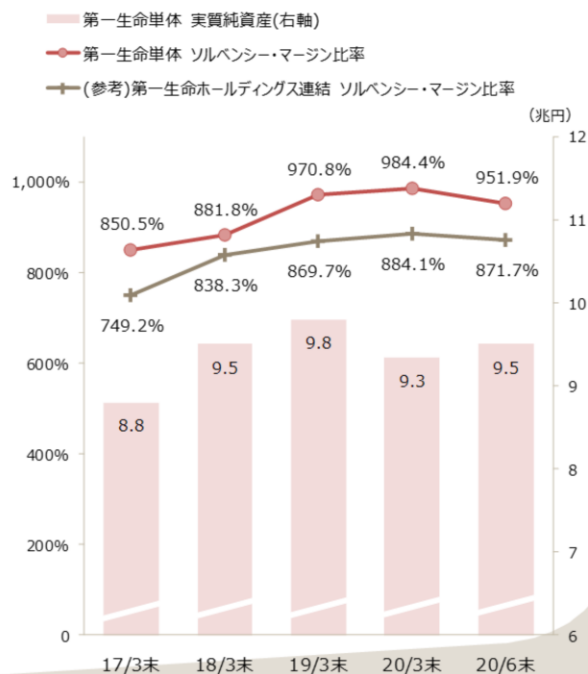
含み損益(一般勘定)の状況

(億円)	20/3末	20/6末	前期末比	(%)
有価証券	54,238	56,958	+ 2,719	+ 5%
国内債券	32,216	29,124	△ 3,092	△ 10%
国内株式	12,611	16,427	+ 3,816	+ 30%
外国債券	8,643	10,434	+ 1,791	+ 21%
外国株式	523	878	+ 355	+ 68%
不動産	3,326	3,384	+ 57	+ 2%
その他共計	58,021	60,636	+2,615	+ 5%

含み損益の市場感応度⁽¹⁾含み損益ゼロ水準⁽²⁾

国内債券	10年国債利回り10bpの変動で 2,700億円の増減※ (2020年3月末: 2,700億円) ※その他有価証券区分: 300億円の増減 (2020年3月末: 300億円)	10年国債利回り 1.1%※ (2020年3月末: 1.2%) ※その他有価証券区分: 1.5% (2020年3月末: 1.5%)
国内株式	日経平均株価1,000円の変動で 1,300億円の増減 (2020年3月末: 1,400億円)	日経平均株価 ¥10,600 (2020年3月末: ¥10,200)
外国証券	ドル/円 1円の変動で 270億円の増減 (2020年3月末: 250億円)	ドル/円 \$1 = ¥108 (2020年3月末: ¥111)

ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額



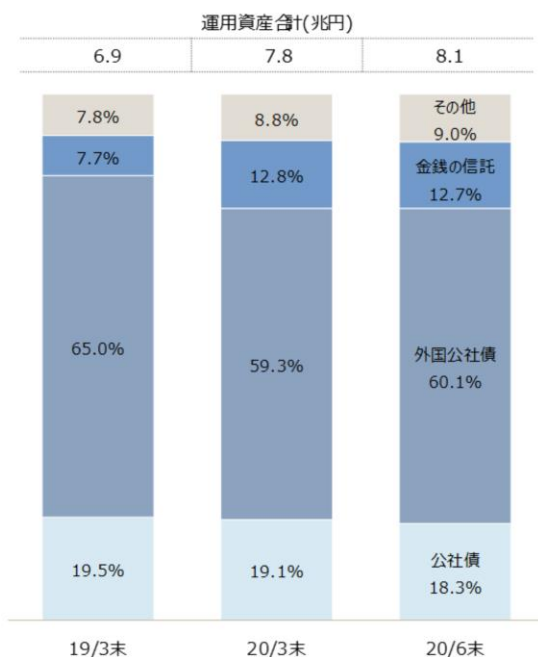
(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準であり、外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準

[第一フロンティア生命] 資産運用の状況 – 運用資産構成

運用資産の構成(一般勘定)⁽¹⁾

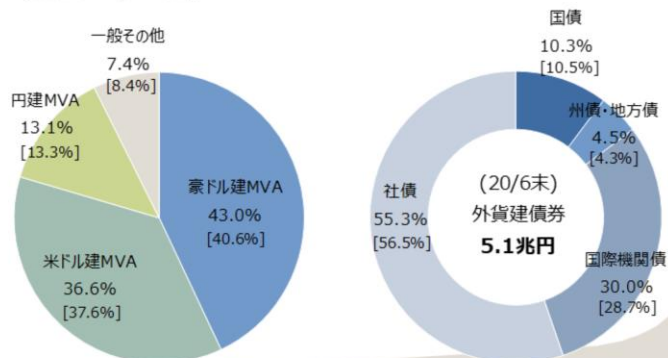
保有目的区分別有価証券の状況 (20/6末)



(億円)	簿価	時価	含み損益
責任準備金対応債券	31,366	34,764	+ 3,398
その他有価証券	30,667	34,059	+ 3,392
公社債	4,118	4,297	+ 178
外国証券	24,841	27,890	+ 3,049
その他の証券	1,706	1,871	+ 165

運用区分別資産残高(一般勘定)と外貨建債券の内訳

[括弧内：20/3末時点]



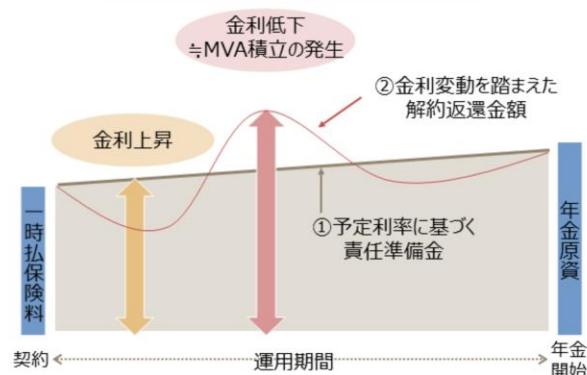
(1)貸借対照表価額ベース



市場価格調整(MVA)に係る損益について

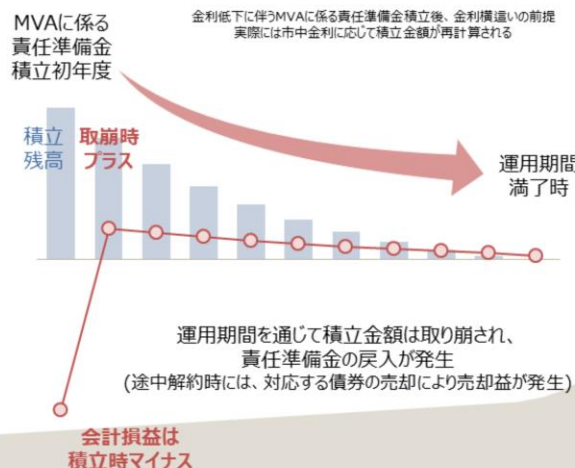
- ▶ 市場価格調整(MVA)付き商品の負債は、会計上、金利低下により「金利変動を踏まえた解約返還金額」が「予定利率に基づく責任準備金」を上回る場合、差額の責任準備金の積立が発生
- ▶ MVAに係る損益は、期間を通算すれば収支への影響はニュートラルなことから、グループ修正利益には含めない

MVAに係る責任準備金の 積立発生(イメージ)



各期末における会計上の負債評価額は、①または②の大きい金額となり、金利低下により②>①となる場合、差額の責任準備金の積立を実施

MVAに係る責任準備金残高と 会計損益への影響(イメージ)



[米プロテktiv・豪TAL] 営業の状況 – セグメント別営業業績

米プロテktiv 営業業績

(百万米ドル)	19/12期 第1四半期	20/12期 第1四半期	前年 同期比	(%)
リテール保険&年金事業	420	749	+ 329	+ 78%
伝統的保険	14	69	+ 55	+ 392%
ユニバーサル保険	28	11	△ 16	△ 58%
定額年金	332	612	+ 280	+ 84%
変額年金	45	55	+ 9	+ 22%
ステーブルバリュー事業	650	503	△ 147	△ 23%
アセットプロテクション事業	111	120	+ 8	+ 8%

豪TAL営業業績⁽¹⁾

(百万豪ドル)	20/3期 第1四半期	21/3期 第1四半期	前年 同期比	(%)
新契約年換算保険料	91	31	△ 60	△ 66%
(TAL) 個人保険	18	21	+ 2	+ 13%
団体保険	67	8	△ 58	△ 87%
アステロン・ライフ	5	1	△ 3	△ 79%
既契約増減	97	△ 163	△ 261	-
(TAL) 個人保険	32	28	△ 4	△ 13%
団体保険	44	△ 222	△ 267	-
アステロン・ライフ	20	30	+ 9	+ 48%

※既契約増減は契約更新や料率改定等に伴う既契約の年換算保険料の増減を示す

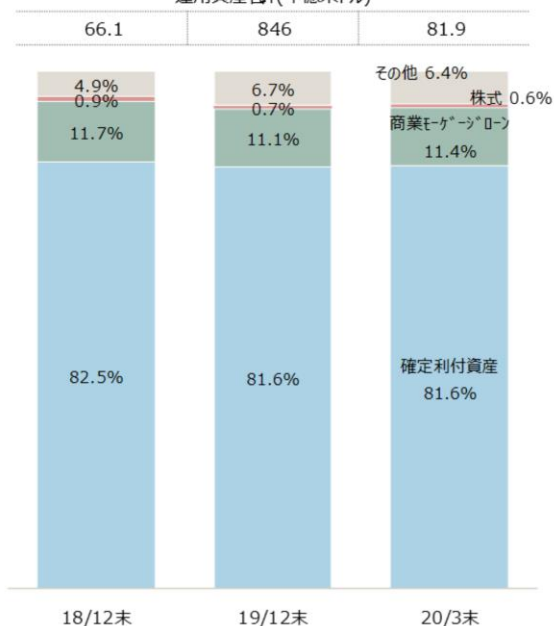
(1) 21/3期1Qより新契約年換算保険料の基準変更を行っており、従来含めていた既契約増減を除いています



[米プロテクト] 資産運用の状況 - 運用資産構成

運用資産の構成(一般勘定)⁽¹⁾

運用資産合計(十億米ドル)

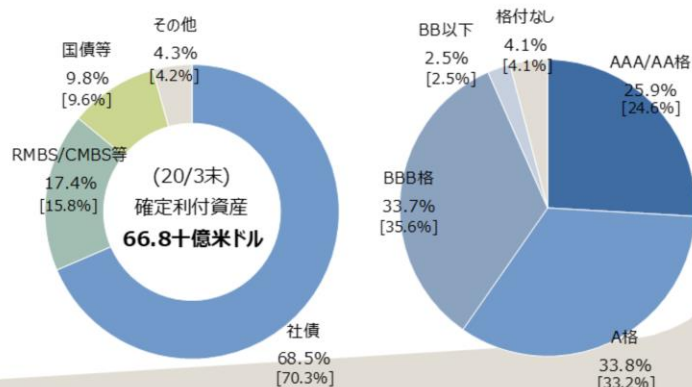


商業モーゲージローンの状況

(百万米ドル)	19/12末	20/3末	増減
商業モーゲージローン(引当前)	9,464	9,504	+ 39
不良債権	3	-	△ 3
貸倒引当金 ⁽²⁾	85	171	+ 86
(対ローン残高)	0.9%	1.8%	+ 0.90pts

確定利付資産の内訳および格付構成⁽³⁾

[括弧内: 19/12末時点]



(1)貸借対照表価額ベース

(2)2020年1月より現在予想信用損失(CECL)を適用しており、19/12末の貸倒引当金は1/1時点の適用後残高を記載

(3)非格付の債券は主にキャパティブ子会社のリザーブファイナンスに係るもの

グループ修正利益



Dai-ichi Life
Holdings

(億円)		No.	13/3期	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期 1Q	20/3期	21/3期 1Q
国内生命保険事業												
第一生命	当期利益	1	514	855	1,521	1,291	1,171	1,699	1,729	596	1,286	194
	調整(1) 危険準備金繰入額(法定超過分、税後)	2	499	249	192	129	129	-	-	-	216	-
	調整(2) 価格変動準備金繰入額(法定超過分、税後)	3	-	97	-	-	-	-	-	-	-	-
	調整(3) 市場価格調整(MVA) 関連損益(税後)	4	0	△6	△2	△4	△2	△0	△0	△0	△0	△0
	調整(4) 持分変動益	5	-	-	-	-	-	-	△14	-	-	-
	調整額合計	6	499	340	189	125	127	△0	△14	△0	216	△0
	修正利益	7	1,013	1,195	1,711	1,416	1,299	1,698	1,714	596	1,502	194
	第一フロンティア生命 当期利益	8	△265	△152	△219	243	502	370	199	△254	△1,000	365
	調整(1) 危険準備金繰入額(法定超過額、税後)	9	153	-	-	-	-	-	-	-	△300	75
	調整(2) 価格変動準備金繰入額(法定超過額、税後)	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
第一フロンティア生命	調整(3) 市場価格調整(MVA) 関連損益(税後)	11	1	△9	469	75	△270	△79	7	401	1,935	△332
	調整額合計	12	154	△9	469	75	△270	△79	7	401	1,635	△257
	修正利益	13	△111	△161	249	318	232	291	207	146	634	108
	ネオファースト生命 当期利益	14	-	-	4	△71	△59	△83	△85	△32	△163	△36
修正利益		15	-	-	4	△71	△59	△83	△85	△32	△163	△36
国内生命保険事業修正利益		16	902	1,034	1,966	1,664	1,471	1,906	1,836	710	1,974	266
海外保険事業												
プロテティブ	修正利益	17	-	-	-	323	457	349	335	153	507	△127
	TAL 修正利益	18	89	86	121	103	127	105	98	48	110	29
海外保険事業修正利益		19	98	108	157	457	615	468	469	216	703	△85
アセットマネジメント事業		20	18	44	61	59	58	53	104	28	120	△9
持株会社	修正利益	21	-	-	-	-	0	3	△35	△14	△44	△7
連結調整	調整(1) 受取配当相殺	22	17	27	36	135	44	-	-	-	-	-
	調整(2) TAL優先株配当	23	-	-	-	-	-	-	10	2	8	1
	調整(3) のれん/償却額	24	38	51	86	63	56	70	82	21	564	13
	調整(4) 持分変動益(第一生命)	25	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-
	調整(5) 持分変動益(持株会社)	26	-	-	-	-	△124	△335	-	-	-	-
	調整(6) 米国法人税減税	27	-	-	-	-	-	△901	-	-	-	-
	調整(7) その他	28	△14	△1	△22	△3	0	39	23	△2	5	△2
グループ修正利益(項番29=16+19+20+21-22-23)		29	1,000	1,160	2,147	2,046	2,101	2,432	2,363	937	2,745	162
連結当期純利益(項番30=29-6-12-24-25-26-27-28)		30	324	779	1,424	1,785	2,312	3,639	2,250	517	324	408

株主還元 (1株あたり株主配当・自己株式取得・総還元性向)

グループ修正利益に対する総還元性向



自己株式取得の実施

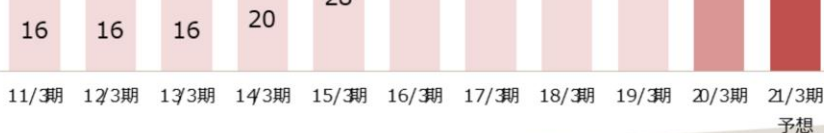
- ▶ 前期の実質的なグループ修正利益である約2,500億円に対し、株主配当と併せて総還元性向40%に相当する300億円を上限とする自己株式取得を実施 (調整前のグループ修正利益2,745億円に対する総還元性向は36.5%)

自己株式取得

実施額⁽¹⁾
約300億

1株あたり株主配当

円/株



2021年3月期 株主還元

- ▶ 株主配当予想は62円とし、安定した株主配当を維持する方針
- ▶ 総還元性向は引き続き40%目処に検討

(1) 2020年8月12日取締役会において決議した自己株式取得の上限金額

第一生命グループ – 連結財務諸表(要約)

連結損益計算書

(億円)	20/3期 1Q	21/3期 1Q	増減
経常収益	18,302	17,913	△ 388
保険料等収入	12,462	10,230	△ 2,232
資産運用収益	5,299	7,100	+ 1,801
利息・配当金等収入	3,080	3,418	+ 337
有価証券売却益	634	1,233	+ 599
金融派生商品収益	-	-	-
為替差益	-	1,444	+ 1,444
特別勘定資産運用益	319	825	+ 506
その他経常収益	540	582	+ 41
経常費用	17,251	17,145	△ 105
保険金等支払金	9,880	9,926	+ 45
責任準備金等繰入額	2,414	209	△ 2,204
資産運用費用	2,508	3,609	+ 1,100
有価証券売却損	142	216	+ 74
有価証券評価損	59	68	+ 8
金融派生商品費用	81	531	+ 449
為替差損	1,944	-	△ 1,944
特別勘定資産運用損	-	-	-
事業費	1,642	1,596	△ 46
経常利益	1,050	767	△ 283
特別利益	3	4	+ 0
特別損失	59	65	+ 5
契約者配当準備金繰入額	189	165	△ 24
税金等調整前四半期純利益	804	541	△ 263
法人税等合計	287	133	△ 153
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	517	408	△ 109

連結貸借対照表

(億円)	20/3末	20/6末	増減
資産の部合計	600,119	607,812	+ 7,692
現預金・コール	17,193	15,817	△ 1,375
買入金銭債権	2,211	2,338	+ 126
有価証券	477,344	491,006	+ 13,662
貸付金	37,157	37,521	+ 364
有形固定資産	11,262	11,259	△ 3
繰延税金資産	118	108	△ 9
負債の部合計	562,350	567,596	+ 5,246
保険契約準備金	504,945	503,915	△ 1,029
責任準備金	495,208	493,527	△ 1,680
社債	11,353	11,287	△ 66
その他負債	27,231	33,236	+ 6,004
退職給付に係る負債	4,408	4,418	+ 10
価格変動準備金	2,407	2,464	+ 56
繰延税金負債	2,961	4,156	+ 1,195
純資産の部合計	37,769	40,215	+ 2,446
株主資本合計	16,415	15,979	△ 435
その他の包括利益累計額合計	21,343	24,226	+ 2,882
その他有価証券評価差額金	22,831	25,716	+ 2,884
土地再評価差額金	△ 179	△ 185	△ 5

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

第一生命 – 財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)	20/3期 1Q	21/3期 1Q	増減
経常収益	9,086	9,451	+ 365
保険料等収入	5,819	5,437	△ 382
資産運用収益	2,756	3,681	+ 925
利息・配当金等収入	1,861	2,091	+ 230
有価証券売却益	621	1,058	+ 437
金融派生商品収益	71	-	△ 71
特別勘定資産運用益	175	468	+ 293
その他経常収益	510	332	△ 177
経常費用	8,026	8,964	+ 937
保険金等支払金	5,493	4,658	△ 834
責任準備金等繰入額	279	1,053	+ 773
資産運用費用	620	1,758	+ 1,138
有価証券売却損	134	213	+ 79
有価証券評価損	55	11	△ 43
金融派生商品費用	-	1,150	+ 1,150
為替差損	227	189	△ 37
特別勘定資産運用損	-	-	-
事業費	937	956	+ 19
経常利益	1,059	487	△ 572
特別利益	3	4	+ 0
特別損失	45	51	+ 5
契約者配当準備金繰入額	189	165	△ 24
税引前四半期純利益	827	275	△ 552
法人税等合計	231	81	△ 150
四半期純利益	596	194	△ 402

貸借対照表

(億円)	20/3末	20/6末	増減
資産の部合計	364,935	374,775	+ 9,839
現金・コール	10,569	7,639	△ 2,929
買入金銭債権	2,211	2,338	+ 126
有価証券	302,837	320,301	+ 17,463
貸付金	25,420	25,733	+ 313
有形固定資産	10,974	10,969	△ 4
繰延税金資産	-	-	-
負債の部合計	339,436	346,113	+ 6,677
保険契約準備金	308,234	309,161	+ 927
責任準備金	302,962	303,941	+ 978
危険準備金	6,284	6,326	+ 42
社債	4,762	4,762	-
その他負債	16,931	22,464	+ 5,532
退職給付引当金	3,980	4,006	+ 26
価格変動準備金	2,154	2,197	+ 42
繰延税金負債	795	2,254	+ 1,458
純資産の部合計	25,499	28,661	+ 3,162
株主資本合計	6,301	5,490	△ 810
評価・換算差額等合計	19,197	23,170	+ 3,973
その他有価証券評価差額金	19,164	23,260	+ 4,095
土地再評価差額金	△ 179	△ 185	△ 5

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

第一フロンティア生命 – 財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)	20/3期 1Q	21/3期 1Q	増減
経常収益	4,282	4,864	+ 582
保険料等収入	3,679	1,547	△ 2,132
資産運用収益	602	3,317	+ 2,715
最低保証リスクに対するヘッジ利益	-	-	-
為替差益	-	1,631	+ 1,631
経常費用	4,522	4,408	△ 113
保険金等支払金	2,085	2,681	+ 595
責任準備金等繰入額	492	1,621	+ 1,128
最低保証リスクに係る責任準備金繰入額	△21	△32	△ 10
危険準備金繰入額	△69	93	+ 163
資産運用費用	1,748	3	△ 1,745
最低保証リスクに対するヘッジ損失	7	37	+ 29
為替差損	1,716	-	△ 1,716
事業費	170	87	△ 82
経常利益 (△は損失)	△240	455	+ 696
特別利益	-	-	-
特別損失	13	14	+ 0
法人税等合計	0	75	+ 75
四半期純利益 (△は損失)	△254	365	+ 620
【参考】			
四半期純利益 (△は損失)	△254	365	+ 620
最低保証リスク関連損益 ⁽¹⁾	△10	△8	+ 1
市場価格調整 (MVA) による損益 ⁽²⁾	△436	353	+ 789
事業利益	136	205	+ 68
危険準備金繰入、価格変動準備金繰入、税金	55	△183	△ 239

貸借対照表

(億円)	20/3末	20/6末	増減
資産の部合計	89,471	91,951	+ 2,479
現金・預金・コール	2,727	3,359	+ 632
有価証券	74,278	76,131	+ 1,852
負債の部合計	86,941	88,642	+ 1,701
保険契約準備金	77,799	79,420	+ 1,621
責任準備金	77,598	79,202	+ 1,603
危険準備金	632	726	+ 93
純資産の部合計	2,529	3,308	+ 778
株主資本合計	499	865	+ 365
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	△1,350	△984	+ 365
その他有価証券評価差額金	2,029	2,442	+ 412

- (1) 最低保証リスク関連損益には、最低保証リスクに係る責任準備金繰入額及び同ヘッジ損益に加え、変動商品の危険保険料や最低保証に係る支払、再保険収支等を含む
(20/3期1Q累計：△23億円、21/3期1Q累計：△3億円)
- (2) 市場価格調整 (MVA) に係る責任準備金繰入/戻入のうち、資産運用損益勘定で相殺され、経常利益に影響を及ぼさない部分は除く

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

米プロテktiv - 財務諸表(要約)⁽¹⁾

損益計算書

(百万米ドル)	19/12期 1Q	20/12期 1Q	増減
経常収益	3,308	5,272	+ 1,963
保険料等収入	1,454	1,661	+ 207
資産運用収益	1,729	839	△ 890
その他経常収益	124	2,771	+ 2,646
経常費用	3,134	5,416	+ 2,282
保険金等支払金	1,388	1,556	+ 167
責任準備金等繰入額	1,288	-	△ 1,288
資産運用費用	186	2,526	+ 2,339
事業費	226	230	+ 4
その他経常費用	43	1,103	+ 1,060
経常利益 (△は損失)	174	△ 144	△ 319
特別利益	0	-	△ 0
特別損失	0	0	+ 0
法人税等合計	36	△ 27	△ 64
四半期純利益 (△は損失)	138	△ 117	△ 255

貸借対照表

(百万米ドル)	19/12末	20/3末	増減
資産の部合計	121,080	116,005	△ 5,075
現金	310	618	+ 307
有価証券	85,011	79,855	△ 5,156
貸付金	11,066	11,168	+ 101
有形固定資産	227	226	△ 0
無形固定資産	3,449	3,533	+ 83
のれん	825	825	-
その他の無形固定資産	2,596	2,677	+ 81
再保険貸	12,836	12,046	△ 789
負債の部合計	111,840	108,732	△ 3,107
保険契約準備金	101,128	97,608	△ 3,519
再保険借	306	410	+ 103
社債	4,496	4,448	△ 48
その他負債	4,514	5,240	+ 726
純資産の部合計	9,239	7,272	△ 1,967
株主資本合計	7,856	7,369	△ 487
その他の包括利益累計額合計	1,383	△ 96	△ 1,480

(1)米国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

豪TAL – 財務諸表(要約)⁽¹⁾

損益計算書

(百万豪ドル)	20/3期 1Q	21/3期 1Q	増減
経常収益	1,397	1,647	+ 250
保険料等収入	1,235	1,439	+ 204
資産運用収益	132	120	△ 12
その他経常収益	29	88	+ 59
経常費用	1,309	1,589	+ 279
保険金等支払金	913	1,128	+ 215
責任準備金等繰入額	93	173	+ 80
資産運用費用	17	9	△ 7
事業費	243	227	△ 15
その他経常費用	41	49	+ 7
経常利益	87	58	△ 28
特別損益	-	-	-
法人税等合計	26	20	△ 5
四半期純利益	60	37	△ 22
基礎的収益力	39	25	△ 14

貸借対照表

(百万豪ドル)	20/3末	20/6末	増減
資産の部合計	12,155	12,484	+ 329
現金	854	776	△ 77
有価証券	6,864	7,082	+ 218
有形固定資産	41	38	△ 2
無形固定資産	1,094	1,087	△ 6
のれん	786	786	-
その他無形固定資産	308	301	△ 6
再保険貸	293	296	+ 3
その他資産	2,830	3,059	+ 228
繰延税金資産	176	143	△ 33
負債の部合計	9,049	9,341	+ 291
保険契約準備金	7,406	7,687	+ 281
再保険借	434	463	+ 29
社債	248	248	△ 0
その他負債	959	941	△ 18
繰延税金負債	-	-	-
純資産の部合計	3,105	3,143	+ 37
株主資本合計	3,105	3,143	+ 37
資本金	2,130	2,130	-
利益剰余金	974	1,012	+ 37

(1) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

主要子会社別損益計算書(要約)



Dai-ichi Life
Holdings

(億円)	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			プロテクト			TAL			連結		
	20/3期 1Q	21/3期 1Q	増減	20/3期 1Q	21/3期 1Q	増減	20/3期 1Q	21/3期 1Q	増減	19/12 期1Q	20/12 期1Q	増減	20/3期 1Q	21/3期 1Q	増減	20/3期 1Q	21/3期 1Q	増減
経常収益	9,086	9,451	+ 365	4,282	4,864	+ 582	289	313	+ 23	3,672	5,737	+ 2,065	1,054	1,217	+ 162	18,302	17,913	△ 388
保険料等収入	5,819	5,437	△ 382	3,679	1,547	△ 2,132	289	313	+ 23	1,614	1,808	+ 194	932	1,063	+ 130	12,462	10,230	△ 2,232
資産運用収益	2,756	3,681	+ 925	602	3,317	+ 2,715	0	0	+ 0	1,920	913	△ 1,006	99	88	△ 11	5,299	7,100	+ 1,801
利息・配当金等収入	1,861	2,091	+ 230	428	438	+ 9	0	0	+ 0	769	868	+ 98	15	3	△ 11	3,080	3,418	+ 337
有価証券売却益	621	1,058	+ 437	4	131	+ 126	-	-	-	8	43	+ 35	-	-	-	634	1,233	+ 599
金融商品売却収益	71	-	△ 71	-	644	+ 644	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
為替差益	-	-	-	-	1,912	+ 1,912	-	-	-	-	-	-	-	4	+ 4	-	1,444	+ 1,444
特別勘定資産運用益	175	468	+ 293	144	357	+ 212	-	-	-	-	-	-	-	-	-	319	825	+ 506
その他経常収益	510	332	△ 177	0	0	△ 0	0	0	△ 0	138	3,015	+ 2,877	22	65	+ 43	540	582	+ 41
経常費用	8,026	8,964	+ 937	4,522	4,408	△ 113	322	350	+ 28	3,478	5,895	+ 2,416	988	1,174	+ 185	17,251	17,145	△ 105
保険金等支払金	5,493	4,658	△ 834	2,085	2,681	+ 595	54	108	+ 54	1,541	1,693	+ 152	689	834	+ 144	9,880	9,926	+ 45
責任準備金等繰入額	279	1,053	+ 773	492	1,621	+ 1,128	204	177	△ 26	1,430	-	△ 1,430	70	128	+ 57	2,414	209	△ 2,204
資産運用費用	620	1,758	+ 1,138	1,748	3	△ 1,745	0	0	+ 0	207	2,749	+ 2,542	13	7	△ 5	2,508	3,609	+ 1,100
有価証券売却損	134	213	+ 79	4	1	△ 2	-	-	-	3	0	△ 2	-	-	-	142	216	+ 74
有価証券評価損	55	11	△ 43	-	-	-	-	-	-	3	56	+ 52	-	-	-	59	68	+ 8
金融商品売却費用	-	1,150	+ 1,150	20	-	△ 20	-	-	-	132	25	△ 107	-	-	-	81	531	+ 449
為替差損	227	189	△ 37	1,716	-	△ 1,716	-	-	-	0	0	+ 0	0	-	△ 0	1,944	-	△ 1,944
特別勘定資産運用損	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
事業費	937	956	+ 19	170	87	△ 82	62	61	△ 0	251	251	△ 0	183	168	△ 15	1,642	1,596	△ 46
経常利益 (△は損失)	1,059	487	△ 572	△ 240	455	+ 696	△ 32	△ 36	△ 4	194	△ 157	△ 351	65	43	△ 22	1,050	767	△ 283
特別利益	3	4	+ 0	-	-	-	-	-	-	0	-	△ 0	-	-	-	3	4	+ 0
特別損失	45	51	+ 5	13	14	+ 0	0	0	+ 0	0	0	+ 0	-	-	-	59	65	+ 5
契約者配当準備金繰入額	189	165	△ 24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	189	165	△ 24
税金等調整前当期純利益	827	275	△ 552	△ 254	441	+ 696	△ 32	△ 36	△ 4	194	△ 157	△ 351	65	43	△ 22	804	541	△ 263
法人税等合計	231	81	△ 150	0	75	+ 75	0	0	-	40	△ 30	△ 70	20	15	△ 4	287	133	△ 153
少数株主損益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
四半期純利益 (△は損失)	596	194	△ 402	△ 254	365	+ 620	△ 32	△ 36	△ 4	153	△ 127	△ 280	45	27	△ 17	517	408	△ 109

主要子会社別貸借対照表(要約)

(億円)	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			プロテクト			TAL			連結		
	20/3末	20/6末	増減	20/3末	20/6末	増減	20/3末	20/6末	増減	19/12末	20/3末	増減	20/3末	20/6末	増減	20/3末	20/6末	増減
資産の部合計	364,935	374,775	+ 9,839	89,471	91,951	+ 2,479	2,443	2,775	+ 331	132,655	126,248	△ 6,407	8,033	9,223	+ 1,190	600,119	607,812	+ 7,692
現金・預金	10,569	7,639	△ 2,929	2,727	3,359	+ 632	1,595	1,907	+ 312	340	673	+ 332	564	573	+ 8	17,193	15,817	△ 1,375
買入金銭債権	2,211	2,338	+ 126	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,211	2,338	+ 126
有価証券	302,837	320,301	+ 17,463	74,278	76,131	+ 1,852	358	402	+ 44	93,139	86,906	△ 6,232	4,536	5,232	+ 695	477,344	491,006	+ 13,662
貸付金	25,420	25,733	+ 313	-	-	-	7	25	+ 17	12,124	12,155	+ 30	11	12	+ 1	37,157	37,521	+ 364
有形固定資産	10,974	10,969	△ 4	3	3	△ 0	2	2	△ 0	248	246	△ 2	27	28	+ 1	11,262	11,259	△ 3
無形固定資産	1,143	1,145	+ 2	92	96	+ 3	17	21	+ 3	3,779	3,845	+ 66	723	803	+ 80	4,729	4,856	+ 126
繰延税金資産	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	116	106	△ 10	118	108	△ 9
負債の部合計	339,436	346,113	+ 6,677	86,941	88,642	+ 1,701	2,411	2,578	+ 166	122,532	118,334	△ 4,198	5,822	6,724	+ 901	562,350	567,596	+ 5,246
保険契約準備金	308,234	309,161	+ 927	77,799	79,420	+ 1,621	2,360	2,538	+ 177	110,796	106,227	△ 4,568	4,895	5,679	+ 784	504,945	503,915	△ 1,029
責任準備金	302,962	303,941	+ 978	77,598	79,202	+ 1,603	2,345	2,521	+ 175	109,830	105,221	△ 4,609	1,637	1,781	+ 143	495,208	493,527	△ 1,680
社債	4,762	4,762	-	-	-	-	-	-	-	4,926	4,840	△ 85	164	183	+ 18	11,353	11,287	△ 66
その他の負債	16,931	22,464	+ 5,532	2,205	1,842	△ 363	47	36	△ 10	4,945	5,703	+ 757	475	518	+ 42	27,231	33,236	+ 6,004
退職給付に係る負債	3,980	4,006	+ 26	-	-	-	-	-	-	97	94	△ 2	-	-	-	4,408	4,418	+ 10
債務変動準備金	2,154	2,197	+ 42	253	267	+ 14	0	0	+ 0	-	-	-	-	-	-	2,407	2,464	+ 56
繰延税金負債	795	2,254	+ 1,458	789	950	+ 160	-	0	+ 0	1,431	1,021	△ 409	-	-	-	2,961	4,156	+ 1,195
純資産の部合計	25,499	28,661	+ 3,162	2,529	3,308	+ 778	32	197	+ 165	10,123	7,914	△ 2,208	2,211	2,499	+ 288	37,769	40,215	+ 2,446
株主資本合計	6,301	5,490	△ 810	499	865	+ 365	32	196	+ 163	9,180	8,644	△ 535	2,879	2,907	+ 27	16,415	15,979	△ 435
その他の包括利益累計額合計	19,197	23,170	+ 3,973	2,029	2,442	+ 412	△ 0	1	+ 1	942	△ 730	△ 1,673	△ 668	△ 408	+ 260	21,343	24,226	+ 2,882
その他の繰延資産等調整金	19,164	23,260	+ 4,095	2,029	2,442	+ 412	△ 0	1	+ 1	1,559	△ 58	△ 1,618	-	-	-	22,831	25,716	+ 2,884
土地再評価差額金	△ 179	△ 185	△ 5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△ 179	△ 185	△ 5

第一生命グループー連結ソルベンシー・マージン比率

(億円)	20/3末	20/6末	増減	
ソルベンシー・マージン総額 (A)	74,466	78,837	+ 4,371	
資本金等 ⁽¹⁾	12,260	12,380	+ 119	
価格変動準備金	2,407	2,464	+ 56	
危険準備金	6,931	7,068	+ 136	
一般償倒引当金	1	3	+ 1	
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90% (マイナスの場合100%)	28,261	31,990	+ 3,729	
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	2,438	2,478	+ 39	
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額(税効果控除前)	△377	△362	+ 14	
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	22,707	22,842	+ 135	
負債性資本調達手段等	9,092	9,092	-	
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに 算入されない額	△7,620	△7,359	+ 261	
控除項目	△2,411	△2,415	△ 4	
その他	774	654	△ 119	
リスクの合計額 (B)	16,844	18,086	+ 1,242	
保険リスク相当額	R ₁	1,324	1,391	+ 67
一般保険リスク相当額	R ₅	48	48	△ 0
巨大災害リスク相当額	R ₆	14	14	△ 0
第三分野保険の保険リスク相当額	R ₈	1,923	1,946	+ 22
少額短期保険業者の保険リスク相当額	R ₉	-	-	-
予定利率リスク相当額	R ₂	2,457	2,457	+ 0
最低保証リスク相当額	R ₇ ⁽²⁾	706	649	△ 57
資産運用リスク相当額	R ₃	12,952	14,232	+ 1,279
経営管理リスク相当額	R ₄	388	414	+ 26
ソルベンシー・マージン比率 (A) / { (1/2) × (B) }	884.1%	871.7%	△12.4%	

(1) 社外流出予定額及びその他の包括利益累計額等を除く

(2) 標準的方法を用いて算出

本資料の問い合わせ先

第一生命ホールディングス株式会社

経営企画ユニット IRグループ

電話：050－3780－6930

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命ホールディングス株式会社（以下「当社」という。）は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。